



製本アーティスト 山崎曜さんの作品

【写真1】2015年の個展。手前に並んでいるのがさまざまな革を使ったノートホルダー「ルリユール・アンデパンダン」。表紙裏が磁石でくっつくフラップになっており、ノートや手帳、本などを挟むことができる。装飾は、金箔押しや革の象嵌など。



2



3

【写真2, 3】楽譜挟み「かげびょうし、八手」。3つ折りにでき、間に楽譜を挟む。写真2は外側から撮ったもので、背景にLEDのライトを配して透けている様子を見せている。写真3はチェンバロの上に置いたところで、内側からの写真。芯にアルミバンチング板を使い、外側を牛革の植物柄、内側を豚革の円だけの幾何柄にして、音が通り抜けるようにした。



4



5



6

【写真4, 5, 6】壊れた英和辞典を修理して一枚革で改装したもの。カバンのように持ったり、壁につり下げてインテリアの飾りにできる。小口にはステンシルで、ENGLISHとJAPANESE、と入れてみた。また四隅にあるホックで表紙を閉めることもできるのでカバンに入れて持ち歩くにも便利。